



今月号では、7月に開催されました定例教育委員会と、小中一貫教育視察研修についてお知らせします。また今回から市内の学校紹介を新たにシリーズで掲載します。

第7回定例会報告

7月21日開催

▽議事

●高島市立今津学習等供用施設「弘川会館」の管理運営規則の廃止について

高島市立今津学習等供用施設の設置および管理に関する条例改正に伴い本規則が不要となったため廃止する旨について承認しました。

▽協議・報告

●第38回高島市人権教育研究大会について
7月30日に新旭公民館等

で開催される本大会について説明を受けました。

(*実施済み)

●人権標語募集について

人権意識の普及と高揚を図るための標語募集について説明を受けました。

(*募集期限9月22日まで)

●第2回高島市美術展覧会の開催について

11月23日～27日にグリーンパーク想い出の森等で開催される本展覧会について説明を受けました。

〈委員からの意見〉

審査の透明性の確保と、事業評価(他の事業を含む)が必要。

●第15回扇面の美展について

12月10日～17日に藤樹の里文化芸術会館で開催される本展覧会について説明を受けました。

●平成18年度ニセコ町少年洋上セミナーについて

7月30日～8月2日にかけて開催される本セミナーについて説明を受けました。

(*実施済み)

●地雷をなくそう！子どもサマーキャンプについて

8月11日～13日にマキノ高原で開催される本事業について説明を受けました。

(*実施済み)

●びわこ全国青少年演劇祭について

8月17日～20日に藤樹の里文化芸術会館で開催される本事業について説明を受けました。

(*実施済み)

●池の沢庭園遺跡調査状況について

県内最古級の庭園遺跡とされる朽木村井の「池の沢庭園」の調査状況について説明を受けました。

小中一貫教育視察研修

7月12日に高島市教育委員会委員と高島市議会文教福祉常任委員会委員との合同研修会として、京都市立大宅小学校(山科区)・山王小学校(南区)の小中一貫教育を視察し



英語科の授業(大宅小学校)

ました。

両校とも全教科の一貫教育を実施しているのではなく、英語と数学について、その管内の中学校と連携しています。

右の写真は、中学校の英語教員が小学校のクラス担任と共に、英語の授業を実施しているところです。

子どもの基礎学力の向上や小中学校教員の連携が、より図れることになったとのことでした。

高島市における小中一貫教育を検討する上で、大変参考となる視察研修となりました。



マキノ中学校

春は、夢と希望で一杯の新生徒を、校庭の100本の桜が満開の花びらで迎えます。



生徒信条「品位・気魄・和合」の下、「真理や理想を追求し、清らかな心を求め、不撓不屈の精神を持った郷土を思う生徒」の育成を目指して、



春から夏にかけて、総合的な学習の時間で「フラワーカーテン(ひまわり畑)」に取り組みます。

生徒たちは、スコップを持つての土おこしから素手での牛糞まき、毎日の水やり・草取りと、家庭でもなかなかやらない仕事を頑張つてこなし、命の大切さや協力すること・責任を果たすことの大切さを学んでいます。

また、環境委員会で花苗を作り、地域の方々に配布すると同時に、一緒に学校の花壇への苗植えを手伝ってもらう地域とのつながりを深めています。



子どもたちの耐性の不足

が言われる昨今、本校では部活動等で粘りや辛抱を養う取り組みをしています。同時に、夏はチャレンジ・ウォーク(夜間踏破遠足や伊吹山登山)、秋は校内10kmロードレース大会で「弱い自分に打ち、自分を乗り越える」体験をさせ成就感や達成感を持たせています。

秋の体育祭では、伝統のマゲーム「団結の塔」で全校生の気持ちを一つにまとめ、生徒の連帯感を高めています。

文化祭では生徒会を中心に合唱コンクールや学級劇でクラスのみとまりを磨き、互いを認め、支え合う仲間作りを目指して取り組んでいます。



冬場には、県下でも数少ない冬季寄宿舎を開

設し、毎年、北小学校区の生徒たちが共同生活を送っています。



近年、生徒数が減少傾向で、部活動の運営や行事の盛り上がりなどに課題が見えてきました。自然に恵まれた環境と地域・保護者の皆さんに支えられて、生徒たちはのびのびと学校生活を送っています。

少人数であるハンディを逆に活かしながら、マキノ中学生としての自信と誇りを持って、何事にも意欲的に取り組む「生きる力」の育成を目指します。



●教育委員会 Information
に対するご意見等は、高島市教育委員会事務局総務課(057-1132まで)お気軽にお寄せください。